

令和7年度

本庄市立藤田小学校

交流体験・自然体験



第5・6学年

特色

- 本校では、毎年2回、春と秋に河川調査を行っている。この活動は、埼玉県魚類研究会、早稲田大学本庄高等学院他、諸団体の皆様に御協力をいただき、交流しながら「総合的な学習の時間」の授業で地域環境学習に取り組んでいるものである。
- 小山川、元小山川に入り、水質を調べたり、網を使って魚を捕ったりする。その結果から、川を取り巻く環境について考察していく。専門家の先生による生物や環境に関する講義を受けたり、自分たちで調べたりしながら、課題解決に向けた学習を行っている。
- 毎年3月に行われる「川のシンポジウム」において、調査結果やその結果を受けての改善策の検討、その成果を発表している。

児童の感想

- 川の中に入るのは初めてだったので、最初は少し怖いと思っていたけれど、やってみると楽しかった。魚がたくさんいることに驚いた。胴長の着方や魚の種類のことなど、みなさんに優しく教えてもらえて嬉しかった。
- きれいな川を取り戻すために、ちょっとした心がけでできることはたくさんあることが分かった。自分にできることから実行しようと思った。

成果

- 胴長を着用して川の中に入ることは普段なかなかできないことであり、よい自然体験の機会になっている。また、活動を通して環境問題について考えるとともに、学校外の諸団体の皆様と交流を深めることができた。